

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ホームの理念としてその日その時を大切に「その人らしい生活」を送れるよう実践に努めている。申し送り時、理念を復唱し共有に努めています。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	地域の自治会への加入。近隣の幼稚園への訪問、傾聴の会、ボランティアカット等の受入れをしていたが現在は新型コロナウイルスの影響で中止している。	コロナ禍により地域の行事したいが無くなってしまった。今後、参加できるものを情報を集めて交流を持てるようにしたい。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍により、書面を通じての開催となっている。地域民生委員、市原市高齢者支援課、地域包括センター、その他各種関係者に貴重なご意見を頂いている。	高齢者支援課に転倒の事故報告をした際に、センサーマット等の導入のアドバイスを頂いた。センサーを置き対応し転倒防止につながった。地域包括センターより利用者様の日々の様子や職員の状況等の報告もあると良いとのアドバイスを頂いた。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日頃より、高齢者支援課、生活福祉課、福祉総合相談センターに相談・報告を行い、アドバイスや協力をして頂いている。	施設内の新型コロナウイルス感染(クラスター)発生時、高齢者支援課に届出を出した際、市と状況を共有し、必要物品(グローブ、マスク、エプロン、消毒液等)を早急に支給して下さい、職員が業務につけた。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	外部研修は、コロナの為中止。新入職員は、身体拘束の研修を行っている。日頃のケアにおいて意見交換を行い、認識を持ち取り組むよう注意を図っている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	身体拘束についてはR4の4月より厳しく話し合いを行い職員に対しても研修を行っていた。身体拘束の種類「スピーチロック」や「薬の拘束」などについても内部研修を行ない職員の質の向上をはかっている。年2回は身体拘束研修を行なっている

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	虐待防止の定義や行為を確認し、虐待の無いよう常に注意を払っている。会議では、言葉遣いには十分気を付ける様指導している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	虐待についての話し合いを会議で年に数回行っている。職員同士も日頃から気になる事は指摘し合い意見の交換を行っている。利用者に安心して過ごして頂くように努めている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新規入居者様の中で成年後見制度が必要なケースもあり対応している。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時は、契約書と重要事項説明書を並行して説明している。疑問点には丁寧に説明し、理解納得を頂いている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族への電話連絡、計画書更新時に、意見や要望を聞き、支援に反映させている。利用者には、日頃、思いを聞いたり思いを汲み取り、職員で共有し支援につなげている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	千葉県内のコロナ感染状況は未だに終息には至らず、一堂に会しての意見交換の機会ができる状態ではないと理解しています。コロナを持ち込まないよう注意しながら次のような機会を得て十分な協力を頂いていることに感謝しています。 1.毎月一回の神経内科通院時にどのような異常行動があったかを神経内科医に知らせて、薬の処方に活用している。 2.毎週3~4回リハビリ運動としての散歩(3,000~4,000歩)による発汗の特別処理(シャワーや入浴)に感謝しています。 1.こちらからの要望は「施設サービス計画書」(1)(2)でほぼ100%採用して頂いているので問題ありません。 2.コロナ禍への対応。出口が明確でないので大変と思いますが、やるべき事はやって積極的対応(家族との面会等)を可能としてほしい。訪問マッサージの開始も。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個人面談を年2回行うようにして、提案や意見を聞く機会を設けている。主任やリーダーに届いた意見を、管理者と話し合い、都度改善に向けている。			

11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勤続年数に応じた昇給や年2回(夏・冬)の勤務評価を行い、給与等に反映させている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勤務年数により、能力があると推薦された職員はリーダーとして推薦され、のちの管理者候補として育成をしている。主任→課長→部長と昇進していける環境を整えている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会社研修として、管理者対象の研修を実施している。職員一人ひとりの力量を把握し仕事を任せ、向上心や成長につながるよう実践している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	能力により、研修命令を出し、実務者研修などの研修を、勤務扱いとし研修を行なう。費用についても、会社支給とする。実務者研修を取得すると処遇改善がアップすることにより職員は向上心を持って働くことができる。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前は同一事業者への相互訪問もしていたが、コロナ禍の為職員は同一事業所や同業者と交流する機会を持っていない。管理者は月1回の管理者会議の際、他事業所の管理者と交流し情報交換を行いサービスの質の向上に努めている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様一人一人の出来る事を見つけ、職員間で共有し、一緒に生きがいや喜びを感じて頂けるよう関係を築いている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の友人や親戚の面会、お墓参り等も行ってきたが、新型コロナの影響もあり難しくなっている。他県に住む親戚より花など届く事があり、お礼の電話や手紙を出したり関係が途切れないよう支援に努めている。	ご家族より母の日の花や誕生日のプレゼントが届いたりした際は、お礼の電話をし、ご本人ともお話をしていたり支援している。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症の症状が進行する中、希望や意向が伝えられない利用者様は、ご家族から話を伺ったり、ご本人の様子から思いを汲み取るよう努めている。			

17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人様にとって何が必要か、ご家族様、主治医と話し合い介護計画作成を見直している。職員に意見を聞き反映している。	管理者・実践者研修を修了した職員より、利用者様の気持ちを考える事の難しさや介護は一人では出来ない難しさを痛感した。他の職員の対応の仕方、研修に参加した方の事例や考え方も参考になり、自分の職場で活かしていきたい。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	通常の会議で提案されたことや職員の意見を元にご家族にケアマネを通し提案することもある。利用者が快適に暮らせるように常に職員間でアイデアを言える環境を整える。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特記事項はユニット日誌へ記入。ケアについては個別にチェックにて記入。ケアプランと連動した介護支援実施表にて実践し、次回のケアプラン作成を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1日1回の申し送りを夜勤者と日勤者で申し送りをする。ADLの低下についてはいち早く気が付けよう問題行動の背景も細かい送りがされて、介護計画の見直しもやっている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	起床や食事の時間は、ご本人の希望に合わせている。体調不良時等ご家族で対応が無理な時は、通院介助を行っている。	利用者様のニーズに合わせ、起床や食事の時間、食事形態、入浴時間等、その時々状況で対応しています。ご家族の代わりに外部受診も行っています。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣幼稚園の運動会、敬老会、散歩時等地域の方との交流があったが、コロナ禍の影響によりできていない。	地域のボランティア活動をされている方より、施設訪問の問合せをいただいた。コロナが落ち着いた際には訪問していただき交流を持ちたい。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在訪問診療は20名、ご家族希望のかかりつけ医3名(ご家族対応)往診だけではなく電話での相談も出来る。訪問歯科での治療も対応している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様の状態により主治医に相談し、専門科受診にむけている。入院の際は、既往歴やサマリー等情報提供を行っている。入院中は定期的にご家族と連絡を取り合っている。病院看護師やケースワーカーとも連絡を取り合い関係作りを努めている。	新型コロナウイルス感染症発生時には抗原検査や随時往診の協力をして頂いた。発熱時や体調不良時、施設内の状況も常に連携を取り関係作りを行っていた。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	当院との診療を通し利用者様が安心して過ごせるように情報交換・相談をして頂いています。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居の際、看取りについての説明を行いご家族の希望を、お聞きしている。終末期に近づいた場合主治医も交えて話し合いも行っている。	ご家族の意向をお聞きしながら、情報や方針を共有し支援に取り組んでいる。施設で出来る事を主治医の指示のもと行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	終末期の利用者様に対し当院と方針を共有し、本人とご家族の支援に取り組んでいる。

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時や応急手当は、主治医や訪問介護の指示やアドバイスのもと行っている。実践力においては課題とする。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の避難訓練の実施。コロナの影響で消防の立ち合いは無し。避難訓練の際、避難方法、避難場所等、職員に指導している。今後の災害に備え、近隣施設との協力体制を構築が課題。	近隣施設や地域との協力体制の連携を取り、災害時に備えていきたい。避難訓練時だけでなく、常日頃より避難方法など身につけたい。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に2回の避難訓練の実施と夜間帯想定 の訓練も行っている。今後の反省を話し合い そのご報告書を記録している。地域との協力 体制として難しい事もあり職員の緊急時の対 応として自宅に近い職員の招集をかけること とする。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は仕事に入る前に入居者様一人ひとりに挨拶を行っている。更衣、入浴介助、排泄介助時、他の方の目に触れない様、配慮をしている。内部研修や会議で声掛けについての指導をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴時のプライバシーの配慮として中のカーテンを必ずすることとする。人生の先輩方の気持ちを忘れずに、声かけ指導を行うように、丁寧な言葉でゆっくりと話す。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室で休みたいと希望されたり、陽の当たる場所で日向ぼっこされたり、新聞を読まれたり、一人ひとりのペースを大切に過ごしていただいている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	配膳、下膳、出来る事は手伝って頂いている。味見をして頂き味付けの意見も頂いている。お楽しみメニューやおやつと一緒に考えて頂き食事が楽しみになるよう努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	好き嫌いがあり、カレーの日は他のメニューを用意してくれている。貝類やしいたけも苦手ですが工夫してくれる。味見も一緒に行っている。下膳など出来る事は行っている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの状態を把握し食事形態、量など注意して提供しています。水分摂取が少ない方、拒否のある方は好みの飲み物、ゼリー、おかゆの水分量で工夫している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の状態に合わせて一部介助、介助、声掛けにて行っている。強く拒否がある方に関しては難しく課題である。ご家族の希望で訪問歯科に月2回来てもらっている方もいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自立の利用者は自分で行うが、口腔内の確認は声かけし行っている。出来る事は自分で行い出来ない所を少し手伝うようにしている。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	排泄チェック表を活用し尿意のない方、落ち着かなくなる方等、パターンを把握し、トイレ誘導を行い失敗を減らしおむつの消費を減らすよう努めている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	時間によってトイレに行っていない利用者に声かけを行い便秘予防として動ける方には積極的に動いて頂くよう声かけを行っている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	基本週2回の入浴で曜日も決めているが、その時の状況で入浴日の変更もしている。入浴剤を使ってリラックスして入浴して頂ける様、支援している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご本人の希望に沿って休息して頂いている。夜間、寝付けない方もおり、傾聴、居室内の温度調整(エアコン・掛布団の調整)等、個別に対応している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	薬の管理は薬剤師が行っているが、職員も薬の内容を把握するよう努めている。体調変化時等、主治医や薬局とも連携を取れる環境作りをしている。誤薬防止のため二重チェック、服薬介助時も指差し確認を行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	薬に関して研修会を何度かさせて頂きレポートを通じて資質の向上も確認出来ました。日々の薬の受け渡しも用量・用法の変化など細かい変化にも認識頂けるようになってると思います。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍のため外出や外食も出来ない状況です。体操、塗り絵、編み物等、ご自分の好きな事をし気分転換されている。個々の能力に応じ、洗濯物たたみ、テーブル拭き、カレンダー管理など役割分担し支援を行なっている。	ご自宅で暮らしていた時から新聞を読まれていた方は、ご家族の支援により新聞を購読されている。洗濯物たたみ等、個々の力を活かした役割の支援を行っている。利用者様はお仕事があつて嬉しいと話される方もいます。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	関連施設への行事、買い物同行支援も行っていましたが、コロナ禍のため出来ない。外出は、ご家族と個別受診等。天気の良い日は外気浴を行っている。	コロナ禍で外出は難しいが施設内で出来る事を考え支援していきたい。施設内にみかんの木があり、みかん狩りを行った利用者様も毎年楽しみにされている。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ほとんどの方が金銭管理できず、希望の品がある時はご家族からお預かりしているお金で購入させて頂いたり、ご家族に持参して頂いている。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族に連絡する際、希望に応じ、ご本人に代わりお話して頂いている。事情のあるご家族との電話に関しては、ご家族と話し合いをし電話可能な時間、通話時間を納得して頂いている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご自分の居室が分からない方もおり、各居室に表札を掲示し混乱しないよう配慮している。季節に応じ飾り付け等をし、居心地良く過ごして頂ける様に工夫している。施設の廻りが木々に囲まれており、外の景色を見て季節を感じる方もいます。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の中にも合うあわないがあります。ひとり一人が快適に過ごせる様席の配置にも気を使っています。季節の果物や花などを取り入れ少しでも季節を感じられるように配慮されています。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍のため利用者様の希望(外食、買い物同行)に添えていない。普段の暮らしは職員の業務の都合にせず、ご本人の思いを聞いたり、関わりを持ちながら察して対応している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所前の情報や入所後、ご本人やご家族様より情報を収集し、今までの暮らしに近い支援を出来る様努めている。(新聞を読む、日記を書く、毎朝、掃除をする等)			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月2回の訪問診療の際、ご自分で主治医に相談されたり、職員が代わりに心配な事を相談し支援に務めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康面は毎日のバイタルチェックの他、排便の確認や水分量等をチェックしています。医療面は訪問診療との連携をとり随時指示を受け対応している。ターミナルの利用者については主治医の指導のもと対応を行っている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所され環境が変わり、戸惑う事も見られるが、少しずつ自分の居場所をみつけ、他の入居者様や職員とも関わりを持ち生活をされている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所の際、使用されていた家具や思い出の物など持って来られる方もいます。荷物がある事により混乱や帰宅願望につながる方もいるので状況により対応している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室にタンスやテレビを置いたり、花やぬいぐるみを置いて自分なりに居心地の良い安心できる部屋作りをしている。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前は他事業所の祭りや地域の敬老会に参加されていたが、コロナ禍のため出来ていない。散歩の頻度も減っている。敷地内での外気浴は行っている。	ご家族の支援により月1回の頻度で病院受診や馴染みの美容室に外出されている方もいます。コロナ禍でも、出来る事を行っていきたい。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人やご家族から入所前や過去にどんな事をされていたかお聞きしている。認知症の進行により今まで出来ていた事も出来なくなる事もあるが、ご本人の気持ちを尊重し洗濯物たたみ、掃除や食器洗いなど役割を持って頂いている。「仕事が出来て嬉しい」と喜ばれる方もいる。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	他フロアを行き来され、いつもと違う利用者様や職員と会話されたり、お茶を一緒に飲まれたり、外のベンチに腰掛け談笑されたりとひと時を過ごされている。会話の出来ない方も職員が話し掛けるよう努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員との会話を職員も一緒に楽しむ事が出来昔のお話や、編み物など職員に見せてくださり、日々の暮らしを楽しんでいる様子も見受けられます。
		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍のため地域の行事も中止となり、散歩のとき寄った植木屋も閉園になり交流もほとんど出来ていない。	家族の支援により、月1回の頻度で病院受診や馴染みの美容室に行かれている利用者様もいます。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員とは日々、何気ない会話や一緒に作業をしたりしている。職員が出勤してくるのを楽しみにされている方もいる。安心して日々、過ごして頂けるよう努めている。	地域の人々との親しみはコロナ禍のため難しいが職員とは日々の関わりで安心して過ごして頂いていると思う。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症高齢者の増加は、現社会において受け入れていくしかありません。地域のグループホームの必要度はこの先より増していくでしょう。負担も大きくなると思います。包括として協力できる部分はしていきます。一緒に励みましょう。